

令和元年度第3回神戸市障害者施策推進協議会 議事要旨

日時：令和元年12月18日（水）15：30～17：10

場所：神戸市役所 1号館 14階 大会議室

○報告

(1) 神戸市障がい者生活実態調査の実施・速報値について

⇒事務局側より、速報版について説明。

- ・対象者 10,960 人に対し、10月15日～11月7日に調査を実施した。
- ・11月末時点で 5,038 の有効回答があり、回収率は 46%。(前回調査回収率は 41.5%)
- ・障害種別でみても、今後分析を行う上で十分な回収数が得られている。
- ・設問別全体集計について説明。今後、詳細なクロス集計・分析を行ったうえで、来年度の「次期神戸市障がい者保健福祉計画」「第6期神戸市障がい福祉計画・第2期神戸市障がい児福祉計画」の策定の際の基礎資料の一つとして活用する。

(2) 神戸市重症心身障害児者実態調査の実施・速報値について

⇒平成29年度から実施している神戸市重度心身障害児者医療福祉コーディネーター事業の一環として、重症心身障害児者を対象として、実態調査を行った。

- ・調査対象は、令和元年7月1日時点で市内在住または本市が決定している重症心身障害児者（身体障害者手帳の肢体不自由1,2級かつ療育手帳A判定）全員（1,245人）。
- ・調査時期は8月9日～8月31日で、639の回答があり、回収率は51%。
- ・設問別に説明。今後、報告書としてまとめ、計画策定の際の基礎資料の一つとして、また、医療福祉コーディネーター事業の推進に活用する。

(3) 神戸市地域自立支援協議会運営協議会からの報告

- ⇒
- ・各区自立支援協議会では、地域の方と防災訓練をしたり、講演会をしたり、障害者への理解を進めるためのイベントであったり、就労支援事業所の活動を知ってもらうための取り組みなど、地域に応じた取り組みを行っている。
 - ・市の自立支援協議会では、各区からの課題を整理し、計画に反映するために協議するもの、区で解決するものなどを整理し、計画に反映すべき課題については、市の自立支援協議会でまとめた上で、計画策定時に提案していく。
 - ・令和2年より、自立支援協議会の中でワーキンググループとして課題整理プロジェクトを立ち上げ、月1回程度課題を検討し、来年度の計画策定時に提案していく予定。

(4) 神戸市敬老優待乗車制度・福祉乗車制度のあり方検討に関する有識者会議からの報告及びパブリックコメントについて

- ⇒
- ・有識者会議は、7月から11月までに計4回開催し、報告書が提出された。
 - ・障害者の福祉乗車制度に関しては、「現時点では現行制度を維持していくのがよいと考える」と示されている。
 - ・有識者会議の報告書をもとに、制度の見直し案をまとめ、その案を示して12月4日から1月10日まで意見募集・パブリックコメントを行っている。

(5) 居宅系サービスの支給量審査基準等の見直しについて

- ⇒
- ・平成29年度からの内部検討会を経て、見直し案を作成し、各団体に意見を聞いているところ。
 - ・主な見直し点は、介護環境区分の新設、医療的ケアを伴い常時介護が必要な重度障害者の特別基準、区における支給決定のプロセスの明確化。
 - ・現在、各団体に聞いている意見をまとめた上で、今後、パブリックコメントを行い、さらに意見を聞いていきたいと考えている。

(6) ヘルプマーク・ヘルプカードの周知啓発について

- ⇒
- ・配布状況は、令和元年10月末でヘルプマーク 13,761 個、ヘルプカード 64,067 枚。
 - ・医療機関や地域生活支援センターなどへの配布も検討しているところ。
 - ・周知啓発においては、障害者週間に合わせて12月3日の神戸新聞朝刊にグループホームについての啓発記事を掲載したり、愛の輪会員向けにポスター・チラシを送付するなど、取り組みを続けている。

- ・今後も、効果的な配布場所について検討していくとともに、引き続き、ヘルプマークへの理解を深めてもらえるよう、周知啓発に取り組んでいきたい。

(7) 神戸 2021 世界パラ陸上競技選手権大会の開催について

- ⇒ ・ 障害のある選手による国際競技大会であり、国際パラリンピック委員会により創設された大会。2年に1度開催されている。
- ・ 2021年9月に第10回大会が神戸で開催される。会場はユニバー競技場。100か国、約1,300人の選手が参加すると見込まれている。
- ・ 2020年1月～3月にかけて補助競技場を改修、2020年中にはバリアフリーの改修を行う。
- ・ 開催にあたり、行政だけでなく、市民の皆さんをはじめ、企業、関係団体のご協力が不可欠である。ご支援、ご協力をお願いしたい。

○主な意見

- ・ 神戸市障がい者生活実態調査について、どのように施策・計画に反映していくのか、また、立てた計画についてどれだけ達成できたのかを見ていくというのは、これから大変な作業になると思うが、本協議会でも知恵を出していきたい。
- ・ 重症心身障害児者実態調査について、医療的ケアを必要としている人とそうでない人との間では、利用サービスの需要が違ってくると思うので、検討してほしい。
- ・ 先日、神戸市地域自立支援協議会が行われたが、各区からは様々な課題について話があった。年明けから、課題整理プロジェクトで、具体的に課題をまとめていけたらよいと思っている。
- ・ 神戸市敬老優待乗車制度・福祉乗車制度のあり方検討に関する有識者会議からの報告については、有識者会議の意見を参考にし、神戸市として制度を持続できるような見直しが必要。パブリックコメントでたくさんの意見を頂きたい。
- ・ 居宅系サービスの支給量基準等の見直しについては、3本柱がメインになっているが、それだけでなく、課題に対して今後どうしていくのか、意見を聞きながら検討してほしい。
- ・ ヘルプマークの周知啓発において、支援者の意思表示ができる仕組みづくりについては、全国的に統一されたマークもない中で、まずは、ヘルプマーク自体の意味を多くの人に知っていただくために、より効果的な周知方法を検討していくことが必要。